

# 長崎県子連NEWS

## あすをひらく子ども会

長崎県子連ニュース No.52  
2026年(令和8年)3月

発行/一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会  
〒850-0029 長崎市八百屋町36(長崎県教育会館内) TEL・FAX095-827-4574  
URL <https://www.kodomo-kai.or.jp/nagasaki/> e-mail [nagasaki@kodomo-kai.jp](mailto:nagasaki@kodomo-kai.jp)

### 子ども会の継承と地域・学校・行政との連携

一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会会長 北御門 長蔵



昭和44年5月、長崎県子ども会育成連合会が結成され、今日まで存続しているのは、設立以来、子どもの健やかな成長を願う皆様の格段のご尽力によるものだと深く感謝申し上げます。

私と子ども会との出会いは、平成元年です。当時、私が住んでいる地域の子ども会行事には、地域住民や保護者、育成会の方々積極的に参加し、例えば、ソフトボールやバレーボールの練習など、活発に取り組んでいました。その風景は、今も忘れることが出来ません。私を子ども会活動へ誘う強烈な後押しとなっています。

私が子ども会を指導している時代、地域には指導者のみならず、協力者がたくさんいました。昨今の子ども会は、加入率、組織率ともに減少し、指導者の確保にも苦勞し、衰退の傾向にあります。また、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、子どもたち、指導者、育成者が3年間子ども会を離れたことで、活動が思うように復活できず、指導者、育成者もどのように活動していたか忘れてしまったような状況も見受けられます。

子ども会は地域で見守られ育てられる子どもたちの活動ですが、地域住民の関係の希薄化が進み、地域活動自体が減少したり消滅したりしているところもあるようです。

「町中に子どもたちの声がきこえなくなると、その町は滅びる」先人の言葉です。昔は地域全体で子ども会を認め、子どもたちを見守り、継続的に関わりをもち、共に暮らしてまいりました。子ども会活動を支えることで地域住民にも新たな学びや気づきが生まれます。子どもの成長とともに地域住民も成長していくのです。

今一度、学校教育だけでは決して学ぶことのできない「子ども会活動の意義・目的・重要性」を再確認してみましょう。

子どもは、遊びの中で互いに影響し合いながら、社会性や協調性、規範意識を身につけていきます。人とのふれあいの中で、他人に対する思いやりを身につけ、健やかに成長していくのです。

地域に根ざし、異なる年齢の子どもたちと様々な体験を通じて交流することができる子ども会活動の果たす役割は、今の時代だからこそ重要になると思います。

地域には、老人クラブや健全育成会、婦人会、自治会等、第一線を勇退された方々の中に、子どもの頃やあるいは親として子ども会活動に関わられた方々が多数おられると思います。このような方々を子ども会の支援者として協力いただくことが必要です。

さらに、子ども会を継承し活性化するためには、地域・学校とどのように関わり、行政とどのように連携を深め、地域ぐるみで子ども会を積極的に育成・支援していくための方策について協議が必要だと考えます。

全子連では、国会議員の先生方に「子どもの体験活動による成長・子育て支援・推進する議員連盟(通称：子ども会議連)」を発足していただき、子ども会活動に対する大きな支援をいただいています。昨年6月には、子ども会議連会長から、文部科学大臣、内閣府特命担当大臣に子ども会を取り巻く環境について提言書を手交し、子ども会活動の重要性と行政からの支援の必要性等について提言していただきました。県子連としても、今後、議員連盟の皆さんのご協力を頂きながら組織拡大、子ども会の発展につなげていきたいと考えています。



ご存知ですか？

## 「長崎県子ども会リーダークラブ」

平成30年度、長崎県子連に「ジュニア・リーダー部」と「シニア・リーダー部」の連合組織として「長崎県子ども会リーダークラブ」が設立されています。

## 1 その目的は

- ①子どもの手による子ども会を進めるために、子ども会のリーダーを育てる。
- ②県内各市町子連に「ジュニア・リーダーの組織」や「シニア・リーダーの組織」をつくる。
- ③全国子ども会や九州地区子ども会のジュニア・リーダーやシニア・リーダーの活動に参加する。

## 2 その組織は

## ①ジュニア・リーダー部

- ・各市町子連のジュニア・リーダー組織に所属している中学・高校生全員
- ・子ども会に所属している中学・高校生で推薦を受けた者

## ②シニア・リーダー部（ユース・リーダー部）

- ・各市町子連のシニア・リーダー（ユース・リーダー）組織に所属している高校卒業以上の学生または社会人の全員
- ・高校卒業以上の学生または社会人のうち、推薦を受けた者

## 3 今はどうなっているの

各市町子連から23名のジュニア・リーダー（以下JL）、7名のシニア・リーダー（以下YL）の登録者でスタートし、当初は、令和2年度に予定されていた九州地区子ども会JL長崎大会の実行委員会として、活動を始めていました。

ところが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、実行委員会はもとより、大会自体も延期、中止せざるを得なくなり、それに伴い、リーダークラブの活動もストップ状態が続いております。

いちばん年少だった中学1年生も高校を卒業しています。専門学校生や大学生、社会人として活躍していることと思います。

事務局として、実行委員会としての区切りの会を開催できていないこと、子ども会で活躍してくれたことへの感謝の気持ちすら伝えることなく、今を迎えていることを心から申し訳なく思っています。

「子ども会は小学校までで卒業する。」「大学生や社会人が子ども会に携わっていいのですか。」といった子ども会への誤解も根強いものがあります。

## 4 これからどうするの

今、子ども会はいへん厳しい状況にあります。県子連の子ども会への加入数も、ここ20年で4分の1にまで減少しています。各市町子連、単位子ども会におかれましては、この傾向に歯止めをかけるべく、様々

な取り組み、努力をいただいています。

その中の一つに、子ども会の行事に、高校生や大学生、専門学校生、社会人を活用していこうという提案がなされています。子ども会で学んだスキルや心を地域の小中学生に伝えながら、自分たちも子ども会活動を楽しみたいという若者の情熱に活路を見いだそうとするものです。

そのような中、全子連JL研修会も昨年度から復活し、本年度は本県からも高校2年生が参加しました。研修を終えての感想を紹介します。

10月11日から2泊3日の「全国ジュニア・リーダー研修交流大会」に参加してきました。「目指せ！笑顔を作る地域のリーダーへ」というテーマでした。

1日目、開会式の後のオリエンテーションで自己紹介をしましたが、他県のJLのコミュニケーション力の高さに圧倒されました。その後、全子連の美田会長の講話を聞きました。失敗を恐れず挑戦して最後まであきらめないことや、自分から学び気づくことが大切だと教えてくれました。その後、2日目に行く「子ども会活動の実践」について、8人で話し合いました。僕たちはJLを通じて子ども同士が仲良くなれるようなレクリエーションを行うことにしました。話し合いの中では意見をまとめるリーダーシップのある人や、多角的な視点から物事をとらえる人など、様々な人から学びがありました。

2日目は、菅生子ども文化センターで、地域の子どもたちと交流しました。学年や性別の違う子ども同士が仲良くなれるように考えていましたが、実際はJLと子どもは仲良くなれても、子ども同士はあまり仲良くなれず、目標を達成できたとは言えないまま終わりました。夜はお楽しみ会がありJLみんなて仲を深めました。

3日目は全子連河村理事長の講話があり、JLとしての資質を高め、子どもたちを理解し見守ることで、学校では学べないような体験を、子ども会活動を通して与える必要性を学びました。

今回の研修では長崎の活動だけでは得ることのできないたくさんものを持ち帰ることができました。全国には本当にすごい人たちがいて同じ高校生として刺激を受けました。今後の活動にこのことを活かし長崎の子ども会を盛り上げていきます。

「長崎県子ども会リーダークラブ」は今も存続しております。子ども会活動に興味・関心がある中学・高校生以上の参加をお待ちしています。県子連事務局(095-827-4574)までご連絡ください。

## 第58回全国子ども会育成中央会議・研究大会

本年度の全国大会は、令和7年11月15日(土)～16日(日)、熊本市で開催されました。  
 今大会のテーマは、「子ども会に社会の力を結集しよう！ ～子ども会活動活性化の具体策と行動～」です。  
 全国から約500名が集まり、大会テーマのもと、熱心に研修・交流を深めました。長崎県からは九子連表彰受賞者を含め14名が参加し、他県(政令市)子連と積極的な情報交換等を行い、有意義な大会となりました。



アトラクション



開会式



記念講演



熊本市立必由館高等学校

大会日程	開催趣旨(全子連)																				
<p>大会1日目(11月15日(土)) 熊本城ホール                      ※アトラクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 開会式 13:30～                             <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 開式の言葉</td> <td style="width: 50%;">4 来賓祝辞</td> </tr> <tr> <td>2 国歌斉唱</td> <td>5 来賓紹介</td> </tr> <tr> <td>3 主催者挨拶</td> <td>6 閉式の言葉</td> </tr> </table> </li> <li>● 講演 14:15～                              熊本市長 大西一史 氏                              「子ども会への市長の思い」</li> <li>● 表彰式 14:45～                             <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 開式の言葉</td> <td style="width: 50%;">2 表彰状及び感謝状、記念品の授与</td> </tr> <tr> <td>3 お祝いの言葉</td> <td>4 謝辞</td> </tr> <tr> <td>5 閉式の言葉</td> <td></td> </tr> </table> </li> <li>● 記念講演 15:45～                              熊本学園大学 講師                              田中 晶子 氏(関西大学大学院博士課程在籍)                              「やりたい！」が生まれる場づくり                              : 動機づけ理論で考える子ども会活動の魅力</li> <li>● 受賞者記念撮影 17:00～</li> <li>● 受賞者を囲む会・情報交換会 18:30～                              熊本キャッスルホテル「キャッスルホール」</li> </ul> <p>大会2日目(11月16日(日)) 熊本城ホール会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 分科会 9:30～</li> <li>● 昼食 12:00～</li> <li>● 全体会(分科会発表) 14:15～</li> <li>● 閉会式 15:30～                             <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 開式の言葉</td> <td style="width: 50%;">5 次期開催地区挨拶</td> </tr> <tr> <td>2 主催者挨拶</td> <td>6 万歳三唱</td> </tr> <tr> <td>3 感謝状贈呈</td> <td>7 閉式の言葉</td> </tr> <tr> <td>4 大会旗引継ぎ</td> <td></td> </tr> </table> </li> </ul>	1 開式の言葉	4 来賓祝辞	2 国歌斉唱	5 来賓紹介	3 主催者挨拶	6 閉式の言葉	1 開式の言葉	2 表彰状及び感謝状、記念品の授与	3 お祝いの言葉	4 謝辞	5 閉式の言葉		1 開式の言葉	5 次期開催地区挨拶	2 主催者挨拶	6 万歳三唱	3 感謝状贈呈	7 閉式の言葉	4 大会旗引継ぎ		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">テーマ「子ども会に社会の力を結集しよう！                      ～子ども会活動活性化の具体策と行動～」</p> </div> <p>昨年度は南国沖縄で開催され、多くの方にご参加いただきました。今年度は、火の国熊本県熊本市で開催いたします。2025年は全国子ども会連合会の設立60周年を記念する大会です。</p> <p>子ども会の会員数は年々減少しており、子どもの体験活動の格差の問題等が指摘されています。全国子ども会連合会では、こうした状況に対応するべく、地区推進研究会・全国推進部会・政策委員会等を設置し、子ども会活動の活性化や子どもの高い水準で均衡のある体験活動機会の確保等の方策を検討してきました。また、放課後安心プランの発売により、会員数減少を要因とする財政危機についても打開しつつあります。とはいえ、2024年度に生まれた子どもの数は約70万人となり、少子化の進行は年々加速しています。</p> <p>こうした問題のなかで本大会のテーマを「子ども会に社会の力を結集しよう！」と設定しました。子ども会と体験活動、子ども会と行政、子ども会と学校、子ども会と交通安全・防犯、子ども会の指導者等、子ども会と関連性の高いテーマを分科会で検討することにより、文字通り「子ども会に社会の力を結集」することをねらいます。分科会のテーマは、全国子ども会連合会が「子どもの体験活動による成長・子育てを支援・推進する議員連盟」に手交した要望書及び議員連盟から文部科学大臣・こども家庭庁担当大臣に手交した提言書に基づいています。</p> <p>加えて、「子ども会活動活性化の具体策と行動」とサブテーマを設定しました。これまでの会議や要望書及び提言書の成果を大会参加者と共有し、更なる具体策とそれに基づく行動を今大会の分科会で定めることが目標となります。</p> <p>「日本中の子どもたちの真の成長と幸福のための子ども会」を実現していくときに、私たち育成者は何ができるのか、大いにかたり合いましょう。</p>
1 開式の言葉	4 来賓祝辞																				
2 国歌斉唱	5 来賓紹介																				
3 主催者挨拶	6 閉式の言葉																				
1 開式の言葉	2 表彰状及び感謝状、記念品の授与																				
3 お祝いの言葉	4 謝辞																				
5 閉式の言葉																					
1 開式の言葉	5 次期開催地区挨拶																				
2 主催者挨拶	6 万歳三唱																				
3 感謝状贈呈	7 閉式の言葉																				
4 大会旗引継ぎ																					

## 長崎県子ども会指導者・育成者研修会〔諫早市大会〕

1 日時 令和8年2月15日(日)  
13:30~16:30

2 会場 諫早市中央公民館

- 3 内容 ①県子連表彰式  
②開会行事  
③事例発表  
④質疑応答  
⑤指導助言  
⑥閉会行事



主催者挨拶 県子連  
会長 北御門 長蔵



祝辞 県生涯学習課  
課長 藤井 大作 様



祝辞 諫早市教育委員会  
教育長 石部 邦晴 様



閉会挨拶 諫早市子連  
副会長 林 和弘

### 研究協議会

研修テーマ

「子どもの手による子ども会」の定着と発展を図ろう  
～ジュニア・リーダーの手による子ども会運営を目指そう～

#### ☆事例発表

①城見町子ども会 宮崎 雅之 様  
子ども会を通して「年上、年下のよその子との付き合い」「同じ町内の子との付き合い」「同じ町内の大人との付き合い」を体験してほしいと願っています。そのために育成者として、きっかけづくりに力を注いでいます。



②原口町子ども会 山口 学 様  
「新入生歓迎会」「花植え」「習字教室」「バーベキュー大会」「ラジオ体操」「敬老の日」「もぐら打ち」等に取り組んだ令和7年度でした。会員減少に伴い、規模や内容、方法等を工夫して取り組んでいます。

#### ☆質疑応答(一部)

- 40年前は小中学生だけ集まって、何をどのようにするか話し合ってた。
- 年間行事に子どもの声反映されているのだろうか。
- 子どもが喜ぶ活動を企画したい。
- 6年生の親が役員を引き受けている現実がある。
- 子ども会でなくてもできる活動はたくさんあるが、子ども会だからこそ可能な体験がある。

#### ☆司会者のまとめ

諫早市子連 専門委員 宮田 龍郎  
これからの子ども会は、自治会や関係団体との協力が大切になってきます。また、会長二人制やメール活用による対面の会議の撤廃等、令和型の子ども会を探っていきたいものです。



#### ☆指導助言

県子連専門委員 平山 仁  
すべてを子どもの手による子ども会活動にしなくてもいいです。子どもをお客さんにせず、子どもがかかわる機会を作り出すことへの大人の支援が必要です。大人が「待つ」ことに耐えないといけません。子ども会活動は街づくりに必ず生きてきます。



#### ☆講評 諫早市教委 生涯学習課

課長 松原 めぐみ 様  
子ども会の企画や運営を、勇気をもって子どもたちに任せましょう。子ども会時代の体験活動が、その後の人生にきっと役に立ちます。



## 令和7年度 全子連・九子連・県子連表彰 受賞者一覧表

### 令和7年度 全子連表彰

区分	地区	氏名	団体名および役職名	活動年数
個人	長崎市	濱辺 廣明	小ヶ倉中校区青育協事務局長	27年
個人	長与町	堀川 政則	長与町子連副会長	33年



濱辺 廣明 様



堀川 政則 様 ご夫妻

### 令和7年度 九子連表彰

区分	地区	氏名	団体名および役職名	活動年数
指導者	長崎市	永野 司	東長崎中校区青育協会長	24年
	長崎市	花野伸一郎	福田中校区青育協生活部	18年
	諫早市	平山 仁	諫早市子連専門指導員	17年



永野 司 様



花野 伸一郎 様



平山 仁 様

### 令和7年度 県子連表彰

(個人)

区分	地区	氏名	団体名および役職名	活動年数
指導者	長崎市	中本 年信	長崎市子連鳴見台小育協会長	16年
	長与町	金柿 雄太	長与町子連理事	12年

(団体)

区分	地区	団体名	子ども代表 育成者代表	活動年数
			東白石育成会	
子ども会	川棚町	下組郷子供育成会	犬伏 航 犬伏 真子	74年



中本 年信 様



金柿 雄太 様



東白石育成会 様



下組郷子供育成会 様

シリーズ  
「我が市・町の子ども会活動」

④ 長崎市子ども会育成連合会「ゆめフェスティバル2025」

長崎市内の子ども会に所属する子どもたちが中心となって企画・運営する通称「ゆめフェス」を「ハッピー・スマイル・ゆめフェス行こう!」のスローガンの元、11月22日(土)三菱重工総合体育館にて開催しました。昨年度は台風接近による中止となったため、2年ぶりのゆめフェスをみんな心待ちにしていました。

ステージ発表のダンスの演技から始まり、プラバン作りや魚釣り、ペットボトル射的など8つのブース体験があり、500名近くの来場者で大いににぎわっていました。



⑤ 島原市子ども会育成連絡協議会「ジュニア・リーダー研修会」

この研修会は、島原市内5・6年生児童が、6月の第1週目の土・日に島原市有明町にある舞岳山荘に集まり、1泊2日で行う宿泊体験学習です。自分たちで飯ごう炊飯やカレー作りなど、様々な体験活動を行います。寝食を共にしたり、共に体験活動を行ったりする中で、さらに互いの交流を深めるとともに、ジュニアリーダーの育成を図っています。



## 令和7年度 市町別加入会員数と加入率

令和8年2月28日現在

市町名	単子数	加入会員数(人)						加入率(%) (加入数/児童・生徒数)			
		未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	高校生	指導者 育成者	合計	未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	小中計
県計	1,174	1,593	18,941	3,619	302	15,105	39,560	3.4%	30.2%	10.7%	23.4%
長崎市	119	154	2,565	256	46	1,493	4,514	1.2%	14.1%	2.7%	10.2%
佐世保市	146	154	2,740	428	15	1,991	5,328	1.7%	23.3%	6.6%	17.3%
島原市	130	201	2,030	221	15	2,312	4,779	13.0%	95.4%	19.5%	69.0%
諫早市	107	169	2,071	444	0	1,427	4,111	3.1%	28.7%	10.9%	22.3%
大村市	42	83	544	89	11	554	1,281	1.5%	8.5%	2.9%	6.7%
平戸市	78	95	853	261	3	753	1,965	10.8%	67.1%	37.9%	56.8%
松浦市	52	46	525	233	19	591	1,414	7.2%	55.7%	42.1%	50.7%
対馬市	14	4	224	82	0	116	426	0.5%	19.9%	13.4%	17.6%
壱岐市	17	8	666	134	0	125	933	1.1%	57.5%	20.3%	44.0%
五島市	30	25	283	104	28	193	633	2.5%	22.0%	13.8%	19.0%
西海市	47	54	722	359	14	748	1,897	7.2%	65.8%	63.1%	64.9%
雲仙市	93	219	1,305	250	1	1,440	3,215	14.3%	66.6%	25.9%	53.2%
南島原市	129	93	1,413	44	11	1,363	2,924	7.7%	81.3%	4.6%	53.9%
市計	1,004	1,305	15,941	2,905	163	13,106	33,420	3.1%	28.3%	9.7%	21.8%
西彼杵郡											
長与町	17	4	443	6	2	105	560	0.2%	19.0%	0.6%	13.2%
時津町	22	107	745	58	5	387	1,302	7.6%	46.1%	4.1%	26.5%
東彼杵郡											
東彼杵町	19	16	244	33	0	121	414	6.5%	69.5%	17.9%	51.8%
川棚町	28	32	518	180	4	520	1,254	7.6%	80.3%	55.4%	72.0%
北松浦郡											
小値賀町	16	42	67	40	17	55	221	73.7%	94.4%	97.6%	95.5%
佐々町	20	21	471	179	0	267	938	2.7%	51.2%	37.6%	46.6%
南松浦郡											
新上五島町	47	66	512	218	111	538	1,445	16.8%	96.2%	73.9%	88.3%
郡計	169	288	3,000	714	139	1,993	6,134	5.7%	46.4%	18.8%	36.2%
本事務局	1	0	0	0	0	6	6	算出基準の未就学児・児童・生徒数は、令和7年度長崎県統計による			
合計	1,174	1,593	18,941	3,619	302	15,105	39,560				

※ 長崎県子連会員数の推移

年度	単子数	加入会員数(人)						加入率(加入数/児童・生徒数)			
		未就学児	小学生	中学生	高校生	育成者	合計	未就学児	小学生	中学生	小中計
R7年度	1,174	1,593	18,941	3,619	302	15,105	39,560	3.4%	30.2%	10.7%	23.4%
R6年度	1,306	2,074	22,283	4,240	280	17,860	46,737	4.2%	34.6%	12.4%	26.9%
R5年度	1,430	2,293	25,630	4,872	306	20,227	53,328	4.4%	38.9%	14.0%	30.3%
R4年度	1,476	2,465	27,424	5,006	322	21,237	56,454	4.5%	40.8%	14.3%	31.7%
R3年度	1,523	2,712	29,133	5,254	319	22,210	59,628	4.7%	42.8%	14.8%	33.3%
R2年度	1,595	2,968	31,290	5,667	283	23,478	63,686	4.7%	44.8%	15.9%	35.0%
R1年度	1,716	3,517	34,013	6,254	319	25,837	69,940	5.6%	48.3%	17.4%	37.8%

## 子ども会加入のご案内

★みんな集まれ！【子ども会】へようこそ！★

子ども会は、地域の子どもや大人が集まって、子どもたちがしたいことを自分たちで計画し、自分たちで実行する会です。異年齢の交流を通じて、社会性や協調性が育まれます。

### ★子ども会に入るメリット

世代を超えて、笑顔をつなごう！

◇つながりができます！

- ・地域の子ども、親、住民が仲良くなり、ネットワークが広がり、安全・安心な街づくりが実現できます。
- ・遊び仲間がたくさんでき、頼りになる上級生との出会いがあります。
- ・保護者どうしの交流が広がり、子育ての情報交換や困ったときの助け合いができます。

### ★子ども会の活動

子どもは地域の「宝物」

◇無理のない範囲で、みんなで協力して行います。参加は自由です。

- ・子どもたちにしたいことを決めさせ、子どもたちで行わせることが原則です。
- ・参考例：これまで行ってきた活動です。

わくわくドキドキみんな友達！

時期	イベント名	内 容
4月	歓迎会/遠級祝い	新しいお友達を迎え、親睦を深めます
7・8月	ラジオ体操	幼児からお年寄りまで集まり、気持ちのよい朝を過ごします
10月	ハロウィン	仮装して町内の家々を回ります
12月	クリスマス会	ゲームやプレゼント交換で盛り上がります
3月	お別れ会	卒業生を送り出し、一年間のまとめをします

### ★加入のご案内

◇ぜひこの機会に、子ども会へのご加入をご検討ください！

- ・加入対象：お住まいの方どなたでも
- ・会 費：子ども会によって異なります
- ・申込方法：お住まいの子ども会の世話役の方にお電話か直接お問い合わせください。  
※世話役の方がご不明の場合は、以下の事務局に電話かEメールでご連絡ください。



### ★お問い合わせ

◇お住まいの市や町の子ども会事務局または、下記の県子連事務局にお問い合わせください

電 話：095-827-4574

Eメール：nagasaki@kodomo-kai.or.jp

子どもたちの笑顔のために、皆様のご参加を心よりお待ちしております！

## 令和8年度 県子連主要事業計画(予定)

事業名	開催日	会場
県子連第1回理事会	5月15日(金)	県教育会館大会議室
県子連評議員会	6月5日(金)	県教育会館大会議室
県子連ジュニア・リーダー研修会	8月1日(土)～3日(月)	長崎日吉青年の家
九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会	8月16日(日)～18日(火)	大分県立九重青少年の家
九州地区子ども会育成研究協議会	10月31日(土)～11月1日(日)	カグイックス交流センター(鹿児島)
全国子ども会育成中央会議	11月21日(土)～11月22日(日)	大阪府：学校法人清風学園
県子連伝承芸能大会	未定	村馬市
県子連指導者・育成者研修会	未定	東彼杵郡
県子連第2回理事会	3月12日(金)	県教育会館大会議室